

第 11 回人体の電磁界ばく露評価研究会

ー 人体の電磁界ばく露評価法標準化の現状と今後 ー

国立研究開発法人情報通信研究機構 NICT/EMC-net

人体の電磁界ばく露評価研究会

主任 多氣 昌生

幹事 大西 輝夫

水野 麻弥

日時 令和 7 年 1 月 27 日 (月曜日) 13 : 30 ~ 16 : 20

場所 情報通信研究機構 イノベーションセンター (日本橋) 協創スペース

出席者 32 名 (関係者 12 名)

プログラム (敬称略)

1. 研究会開会挨拶 13 : 30 ~ 13 : 35

多氣 昌生 (情報通信研究機構 電磁波研究所電磁波標準研究センター
電磁環境研究室 上席研究員)

2. 低周波・中間周波における標準化 13 : 35 ~ 14 : 15

山崎 健一 (一般財団法人電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部
ファシリティ技術研究部門 副部門長,
IEC TC106 国内委員会委員長 兼同低周波委員会委員長)

3. 高周波領域における人体の電磁界ばく露評価法標準化の最新動向 14 : 15 ~ 14 : 55

東山 潤司 (株式会社 NTT ドコモ 6G テック部 無線デバイス技術担当 担当課長,
IEC TC106 国内委員会高周波委員会委員長)

休憩

4. パネルディスカッション 15 : 20 ~ 16 : 20

「今後の人体の電磁界ばく露評価法の標準化について」

ー 利用周波数の拡大と複雑化する人体ばく露環境における標準化について考える ー

パネリスト : 山崎 健一, 東山 潤司, 多氣 昌生

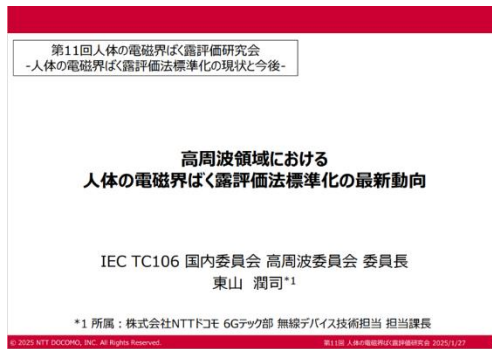
モデレータ : 大西 輝夫 (情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波標準研究センター
電磁環境研究室 研究マネージャー, IEC TC106 議長)

【 会場の様子 】

2. 低周波・中間周波における標準化



3. 高周波領域における人体の電磁界ばく露評価法標準化の最新動向



4. パネルディスカッション



大西 輝夫



多氣 昌生

